

令和に繋いだ第51回内部地区文化祭

令和元年
11月3日(日)
9時～15時
内部小学校

内部地区社会福祉協議会 山中会長挨拶



「住んでいて良かった内部」を目標に活動しています。今年、内部社協で館長予算の補助を頂き法被100枚を揃えました。背には昭和58年度の応募審査で決定した「内部地区の発展と団結」を表す上記のシンボルマークが標されています。(花びらは当時の13町を表す)

親睦を重ねて51年 絆を深めるイベント開催

屋外イベント 今年も開催バルーンアート



昨年に引き続きピエロに扮したお姉さん登場。プレゼントの動物アートに親子でありがとう。

特別出演 2019年東海大会銀賞の実力！内部中学校吹奏楽部の迫力演奏



来賓 森市長挨拶



お祝いの挨拶を頂きました。「内部は盛り上がっている。四日市市人口が微増の中、内部は昨年比10%増加。世界に羽ばたくアスリート2人を輩出している。応援したい」。



リボンクラブの民舞「嫁泣き節」若い嫁の水汲みの辛さを歌った曲で踊りを披露。

舞台発表 舞台発表12団体、個人1人が出演

舞台発表



テント10張り。昼食時のうどん、焼きそば、みたらしコーナーには行列の人だかり。あっという間に売り切れました。



アロハピリによるフラダンス 3曲の軽快なハワイ音楽に乗り熱演。

躍動感溢れる演奏に酔いしれる満員の聴衆。

こどもたちの意見発表 3年前より舞台発表の幕間に、小中学生の意見を地域の皆さんの前で発表してもらっています。



内部東小学校6年
井高咲希さん 儀賀峻磨さん
杉本美琴さん 杉本七咲さん
意見文：
「未来がよりよくあるために」



内部小学校6年
青木ゆめのさん
意見文：
「未来が平和になるために」



内部中学校3年
鎌田 花さん
英語スピーチ：
「I'll be me」

作品展示



作品展示は188点。いずれおとらぬ力作ぞろいに感嘆する声も聞こえました。



書道は130点。

家族連れなど多くの人が訪れました。

裏方さん 文化祭は実行委員会80名が4か月前から準備を進め、前日の会場設営から当日の進行、撤収まで実行しました。

①作品展示は前日準備作業に20名が参加。展示場の設営から作品の搬入受付と飾り付けなど 準備に多忙の皆さんでした。



②当日の舞台袖での準備作業



出演者も手伝って舞台作りに精を出します。なんとか無事に幕が開きました。

タイムスケジュールに沿って舞台裏ではテンテコ舞です。



7/7 きれいな川、美しいふるさと、第35回内部川清掃



今年も内部地区20自治会の住民、長寿会など活動団体、内部中学校生徒、事業所の皆さん、国土交通省、三重県、市関係者など13団体から772名が参加しました。夜明け前までには雨も上がり、晴れ間も出て、作業には絶好の天候の中ゴミ拾いに汗を流しました。

昨年からはじめた、予定時間になったらその場で終了となる現地解散方式は参加者には好評でした。

7/14 内部消防分団が消防操法大会で披露



四日市市消防分団による第56回消防操法大会が四日市市博物館前の市民公園で開かれ、内部分団が参加。惜しくも入賞を逃しましたが、日ごろの訓練に基づいてきびきびした操作を披露しました。

内部分団は三谷団長以下団員15名。火災発生時には消防署と協力して消火活動にあたり、台風など災害警報発令時には警戒、防御活動、地区防災訓練に際しては地域住民への防災指導・教育に当たっています。

7/24.2 地産地消 夏休み子どもクッキング

夏休み
子供教室



「地産地消」をテーマに今回で14回目。今年は、3年生から6年生までの生徒合計42人(男子12人、女子30人)が参加。メニューは餃子、トマトだれ、トウモロコシご飯、カルピス寒天ゼリーの4品。「皮を丸く作るのは難しかったけど楽しかった」、「皮がもちもちして美味しかった」と子供達に大好評でした。

8/2 ペットボトルの中にできた雲に驚き！

夏休み
子供教室

毎年四日市おもちゃ病院のドクターにより開かれる夏休み恒例の子ども科学教室に、小学生27名と保護者が参加しました。前半は風がおこる仕組みや天気について、実験を交え学習しました。ペットボトルの中で雲を作る実験では、目の前で白く曇る様子を見て驚きの声を上げていました。後半は、ダンボールと輪ゴムなどで「紙飛行シューター」を作り、紙飛行機を飛ばして遊びました。



8/16 采女城跡案内リーフレット刷新



采女城跡は「杖衝坂」、「東海道」と並んで内部地区の史跡トップスリーの一つです。

城跡の整備保存活動を続けている采女城跡保存会(平成15年結成)は15年ぶりに案内リーフレットを刷新しました。

新リーフレットには地理や城跡の遺構、後藤家の歴史、伝えられてきた秘話などたくさんの情報がコンパクトに盛り込まれています。

8/6・19 児童が手打ちうどんに挑戦



内部学童保育所では夏休み特別イベントで手打ちうどんを体験、試食しました。北小松町の堀製麺さんが材料・道具一切を手配して指導。

子どもたちは5人ずつの班に分かれて、小麦粉と塩水を混ぜて手でこねるだんご作りから薄く延ばして、包丁で切り、ゆで上げるまで約1時間半の工程に挑戦しました。

みんなで
応援しよう！

9/15 地元出身アスリートが日本代表に選出！



後輩の陸上少年団にかこまれる中村

中村匠吾選手
東京オリンピックマラソン代表内定

9月15日(日)に行われた東京五輪のマラソン代表選考会「マラソングランドチャンピオンシップ(MGC)」で、地元出身の中村匠吾選手が優勝。五輪マラソン代表に内定しました。

中村選手は内部小学校から内部中学校卒。小学生時代は内部陸上少年団(コーチ水谷渉さん)で活躍しました。

安藤周人選手バスケットボールワールドカップ日本代表出場

8/31~9/15まで中国において開催されたFIBAワールドカップ2019に地元出身の安藤周人選手が日本代表で出場しました。

小学生時代は内部ミニバスケットボールクラブ男子に所属、内部中学⇒四日市工業出身で、将来が期待される25歳です。現在、名古屋ダイヤモンドドルフィンズに所属し、Bリーグで活躍しています。

家族全員がバスケット経験者の中で育ち、見事に花を咲かせました。



日本代表チーム

8/23 親子防災教室「子どもの防災ずきんをつくろう！」

夏休み
子供教室

この講座は、昨年度内部地区市民センターが開催した「女性のための防災講座(全4回)」から生まれた「内部防災女性グループ」によりおこなわれました。

防災ずきんは、災害発生時に頭部を保護するための簡易防具ですが、さらに今回は避難用品を収納できる便利なポケット付き防災ずきんを作りました。

防災ずきんは最後になみ縫いをしますが、男の子も上手に、女の子は「楽しい〜！」と言いながら、なみ縫いを興味津々でやっていました。



9/18 内部東小学校 トンボ池のイノシシ対策

内部東小学校のトンボ池はコミュニティスクール関係者や内部ほたるの里を育てる会など、地域の皆さんが集まって「トンボの里を育てる会」が結成され、昨年からは整備が進められてきました。

最近周辺地域がイノシシに荒らされてきたことからトンボ池の周りにフェンスを立てる工事が行われ、会のメンバーと内部東小3年生と一緒に取り組みました。



10/5 お月見コンサートインうつべ ~手を取り合って~



第14回となるお月見コンサートが内部東小学校体育館で開かれました。今年のお月見コンサートは、障害のある人たちへの思いをテーマに「~手を取り合って~」と題して、歌と詩の朗読と障がいのある人たちによるミュージックベル演奏の構成です。さわやかな涼気の漂う初秋の夕べ、会場の体育館に集まった250名の聴衆を魅了しました。

10/6 内部川河原でデイキャンプ

社協青少年育成部と子育て連が主催する恒例のデイキャンプ。今年の昼食のカレーは、避難生活訓練を想定して非常食用レトルトカレーを大釜で温める方式でした。

子どもたちに人気の野外ゲームは、竹切り競争、竹とんぼ飛ばしに今年は竹てっぽう遊びが加わりました。新聞紙を濡らしたものを丸めて穴に詰め、下から棒を押し込むと空気が圧縮されて、「ポン！」と音を立てて弾が飛び出すもの。初めての子どもも多く、びっくりした様子でした。

